

2026 年 7 月 23 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 デ ジ タ ル プ ラ ス
住 所 東 京 都 渋 谷 区 元 代 々 木 町 3 0 番 1 3 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 菊 池 誠 晃
(コード番号：3691 東証グロース市場)
問 い 合 っ せ 先 取 締 役 C F O 加 藤 涼
TEL. 03-5465-0690

2026 年 9 月 期 第 3 四 半 期 の 事 業 進 捗 に 関 す る 動 画 公 開 の お 知 ら せ

当社は、2026 年 9 月 期 第 3 四 半 期 の 事 業 進 捗 に 関 す る 当 社 代 表 に よ る 説 明 動 画 を、下 記 の と お り 公 開 い た し ま し た の で お 知 ら せ し ま す。

1. 概要

ご説明動画 URL : <https://youtu.be/SDjqPMciXsc>

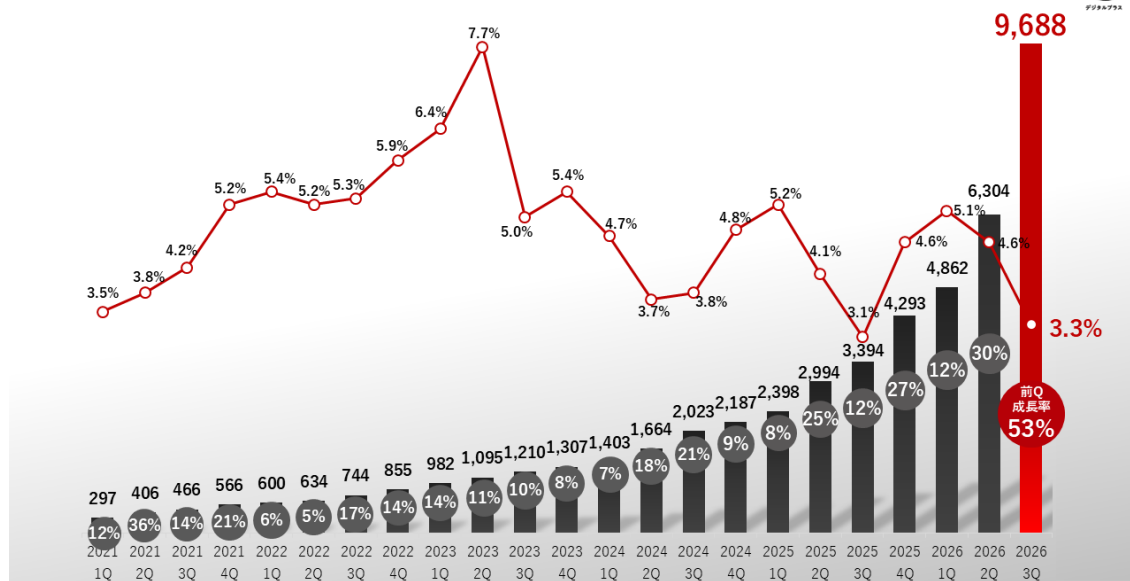
本動画では、当社代表取締役の菊池誠晃が回答しておりますので、ぜひご覧ください。

2. 当社代表による 2026 年 9 月 期 第 3 四 半 期 の 事 業 進 捗 に 関 す る ご 説 明

① 流通総額の進捗

先日流通総額の速報値を公表しており、**前四半期比 53% 増**となる約 **97 億円**で着地いたしました。これにより、流通総額は 25 四半期連続成長となり、2028 年流通総額 1,000 億円の達成に向け、順調に進捗しております。また、今期最重要 KPI として掲げていた**月間流通総額 35 億円**についても、**6 月に達成**しました。今回の大幅な成長は、第 2 四半期に開始したポイ活領域への販管投資の効果が本格的に現れたことに加え、株主優待の配布がピークを迎えたことが主な要因となっております。

流通総額 25 四半期連続成長・前四半期比 53% 増・四半期流通総額 100 億円へ到達 



② 流通粗利率・営業利益の進捗

当社は今期、月間流通 35 億円の達成を最優先事項として取り組んでまいりました。

その結果、事前にご説明していたとおり、流通粗利率は通常時よりも低下し 3.3%となりました。一方で、前回の動画でもご説明したとおり、当社では流通総額・流通粗利率に加え、流通粗利額そのものの成長を重要な指標としております。

第 3 四半期においては、流通総額の拡大に伴い流通粗利額も着実に成長しております。また、第 2 四半期には減損損失の計上により営業利益は一時的にマイナスとなりましたが、第 3 四半期においてその影響を吸収し、**通期黒字化は現時点で確実な状況**となっております。

③ 北海道給付金の進捗

7 月より北海道庁における物価高対応緊急経済対策が開始いたしました。

現在、配布が進んでいる段階であり、利用状況等につきましては、8 月、または 9 月頃を目途に改めてご報告させていただく予定です。

④ GMO ペイメントゲートウェイ株式会社との連携

7 月 9 日に、GMO ペイメントゲートウェイ株式会社との連携をリリースいたしました。

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社は、当社が上場する以前より株主として長年ご支援いただいております。経営や事業戦略について多くのご助言をいただいております。このたび、上場から 11 年を経て、改めて業務提携という形で一緒できることを大変嬉しく思っております。

同社は年間決済処理金額 23 兆円超を誇る国内有数のオンライン決済プラットフォームであり、今回の取り組みは、当社がこれまで進めてきた個社営業に加え、アライアンスを通じた流通拡大・生産性向上を推進する重要な第一歩と位置付けております。

今後も、このような戦略的パートナーシップを積極的に推進し、持続的な成長につなげてまいります。

⑤ 今後の見通し

当社は 2026 年 9 月期の流通総額目標として 250 億円を掲げておりますが、足元の進捗を踏まえると、この目標を上回る見込みとなっております。さらに、2028 年流通総額 1,000 億円の実現に向け、**2027 年 9 月期は流通総額 500～600 億円規模を着実に実現していくことを目指しております。**

2026 年 9 月期も残り 3 か月を切りましたが、引き続き事業成長に全力で取り組んでまいりますので、ご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。

3. 本開示に関するお問い合わせ先

株式会社デジタルプラス IR 担当

メールアドレス：ir@digital-plus.co.jp

以 上